

日田市中小企業振興施策に関する提言書

《 2019 》

日田市中小企業振興推進会議

日田市長 原田 啓介 様

## 日田市中小企業振興施策に関する提言について

本年度、日田市中小企業振興推進会議では、日田市中小企業振興計画の見直し作業のほか、中小企業者が抱える課題や日田市として取り入れるべき施策等について、専門部会を設置し、議論を重ねて参りました。

この度、特に取り組むべき必要な施策として「地域ブランディングの確立」と「創業の促進・強化」をあげ、提言することと致しました。

まず、「地域ブランディングの確立」については、日田のものづくり職人によるしごとの魅せる化が職場環境の改善と雇用の確保につながり、ひいては、製品の高付加価値化が図られると考えます。このことから、今年度実施した、『ものづくり探検隊』を継続・進化させ、地域ブランディングとしての確立を目指すこと。また、市内の中学校が一斉に工場見学を行う日を設けるなど、地元企業を知ることが今後のキャリア教育の一層の充実となるため、前向きな検討を行っていただくことを提言します。

次に、「創業の促進・強化」についてです。日田市の廃業事業所数は生産年齢人口の減少に伴い、今後も一定程度見込まれることから、「創業の促進・強化」は、働く場の創出のみならず、地域の活力創造に必要不可欠な原動力です。このことから、創業者を応援するため、創業補助金の創設や創業後のフォローの強化、また、地元企業との協業支援など、創業にフォーカスした総合的な施策に加え、事業承継の課題についても検討を行っていただくよう提言します。

また、この2項目以外にも下記の表に委員から出された意見をまとめています。一つでも、今後の中小企業振興施策に取り入れられることを期待しています。

《 中小企業振興施策としての提言 》

項 目	内 容
1. コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ブランディングの確立（職の魅せる化による職場環境の改善、雇用の確保、高付加価値化）</li> <li>・子育てと仕事の両立支援（子どもを育てるには働かなければいけない。子育て環境だけでなく、働く環境両輪で支援する町）</li> </ul>
2.機 能	「働く情報」のワンストップ化（就職も、起業も、育休も、スキルアップも、すべての情報が得られる場所）
3.ハード整備	雨天対応型のイベント広場（企業の新商品発表、アマチュアバンド演奏、朝市などが行える場所）
4.検討会	異業種、異年齢の集まりによる市の施策検討会（専門部会のように、自由に話し合える場）
5.市の組織	中小企業を応援するというメッセージの部署名へ（市民意識調査の結果、“商工業の振興”は満足度が最下位）
6.事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業振興基本条例の普及啓発</li> <li>・奨学金の返済支援制度</li> <li>・工場見学の中体連（日田市一斉のオープンファクトリー）</li> <li>・農産加工の新商品開発支援（H30で終了）</li> <li>・日田オリジナルの「はじめて箱」製作</li> <li>・創業者応援制度の拡充と事業承継の推進</li> </ul>
7.情報公開	市の物品の市内業者以外への発注物を公表する仕組み
8.KPIの深掘り	KPIとは別に満足度的な要素を数値化

令和元年12月12日

日田市中小企業振興推進会議 委員長 関谷 忠